

市民参加型まちづくり1%システム 事業成果発表会

日時：平成30年5月19日（土）午後1時30分～
場所：ヒロロスクエア イベントスペース

次 第

1. 開会
2. 成果発表
3. 講評
4. 挨拶
5. 閉会

【担当】

弘前市市民文化スポーツ部
市民協働政策課 市民協働係

事業成果発表会予定表

開始時刻	事業名	団体名
13:30	開 会	
13:35	イキイキ健康クラブスマイル	イキイキ健康クラブスマイル
13:50	WAのりんご ～もっとりんごを身近に～	Aプロジェクト
14:05	鬼楯地域 「歴史と伝説の里づくり事業」	歴史と伝説の里「鬼沢の会」
14:20	休 憩	
14:30	津軽カタリスト 太宰治 ドラマリーディング定期公演 事業 ★ドラマリーディングの実演があります！	津軽カタリスト
14:50	DOG FES IWAKI 2017	DOG FES IWAKI 実行委員会
15:05	青森サミット2017	ひろさきナラティブ.net
15:20	講 評	
閉 会		

“みんなであずましまちづくり”

市民参加型まちづくり1%システムは、地域の課題解決や活性化につながる活動を支援する補助金制度です。

地域のことをよく知っている市民のみなさん（町会、NPO法人、ボランティア団体など）のアイデアをお待ちしています！

補助金額は、補助の対象となる経費の90%以内（上限額は50万円）です。補助の対象となる経費とは、事業を行うために直接必要な経費のことです。

例：外部講師の謝礼、交通費、消耗品費、印刷製本費、使用料・賃借料など

詳しくは、市民協働政策課 市民協働係（☎40-7108）にお問い合わせください!!



イキイキ健康クラブスマイル

イキイキ健康クラブスマイル

事業目的

より多くの人に、高齢になっても要介護状態にならずに、明るく健康でイキイキとした生活が送れるよう、自らも頭で考え、自らの手足で行動できる力をつけてもらうこと。
高齢者の孤立化を防ぎ、自ら行動することの大切さを知ってもらえるように、活動を広めること。

事業内容

高齢者を対象に、スポーツ指導員による健康体操、ダンスを実施し、体操終了後には生活に役立つ情報などを話し合えるお茶会を実施しました。また、年間行事として、弘前に関する教養講座や美術鑑賞などを実施するなど、文化的な活動を行うことで、心と体の両面からアプローチしました。

- 事業実施場所: TSSビル 研究室ほか
- 事業実施期間: 平成29年4月1日～平成30年3月31日
- 参加者数: のべ864人
- 補助金確定額: 76,000円(事業費: 585,386円)

事業による効果

参加者の口コミで参加人員も増えたことで、高齢者であっても新しい人との出会いを喜び、楽しめる心の柔軟性を保つことにつながりました。
また、1週間に1回、自由に参加でき、健康体操の後にコミュニケーションを取る場があることで、高齢者の孤独感を和らげることができました。

今後の活動展開

高齢者の健康保持のため、参加者一人一人が周りの人とのコミュニケーションを楽しみ、一緒に活動することで、心身が活発になる内容を常に考えていきたいと思えます。
また、経費面では、行事内容に応じて臨時徴収をしたり、積み立てをすることで、無理のない計画を立てていきたいと考えています。



大変よくできた

⇒計画した事業をすべて実施でき、教養講座やコンサートなど、市民に広く呼びかけたイベントも盛会でした。

参加者がイキイキとした表情で、役割を持って参加しており、仲間意識も高まりました。



WAのりんご ～もっとりんごを身近に～

Aプロジェクト

事業目的

りんごとりんごの加工品、りんごに関連する工芸品について知ってもらうことで、市民のりんごに対する関心を高め、りんごをもっと身近に、生活の中に取り入れてもらうきっかけをつくること。それによって、りんごづくりの担い手や、加工品・工芸品に携わる人材が育っていくなど、りんごに関連する産業の魅力が広がること。

事業内容

弘前にとって大事な産業である「りんご」をテーマに、親子三代で楽しめるワークショップ(りんごの色やかたちにこだわった講座、りんごを使ったフラワーアレンジ、料理教室、シードル講座、りんごの木でバターナイフを作るワークショップ・りんご産業についての講座)を開催しました。

- 事業実施場所: 百石町展示館、シードル工房kimoriほか
- 事業実施期間: 平成29年10月1日～平成30年3月31日
- 参加者数: のべ115人
- 補助金確定額: 205,000円(事業費: 230,310円)

事業による効果

参加者からは、次の企画に関する要望があるなど、りんごに関する取り組みに興味を持ってくださっている人がいることがわかりました。親子三世代での参加を推奨していましたが、さまざまなかたちの親子での参加があり、事業を通して、親子での交流をしていただくことができました。

今後の活動展開

参加者のターゲットを絞りこみ、事前予約をしてもらうなどして、参加者数の見込みをたてる方法も考えたいと思います。ワークショップや講座の会場に、毎回りんごに関するものを展示したことで、りんごを身近に感じてもらうための活動を知ってもらうことができたので、今後も継続していきたいと思います。これからも、事業内容を精選して、協賛者を集めることも検討しながら事業を続けていきたいです。

自己
評価

おおむねできた

⇒アンケート結果から、参加者はワークショップの内容・作品作りなどに満足しているようでした。

事業期間中に、団体の活動について関心を持ってくださる人ができ、次年度の計画につながりました。



鬼檜地域「歴史と伝説の里づくり事業」

歴史と伝説の里「鬼沢の会」

事業目的

- ・鬼沢地域を地域外に発信し、地域の歴史(義人・藤田民次郎)や、伝説(鬼伝説)、地域の基幹産業である農業を宣伝し、地域外からの来訪者と交流することで、地域に更なる活力を生み出すこと。
- ・史跡や歴史等の地域資源を守り、後世に伝えるための人材を育成すること。

事業内容

鬼沢の歴史と伝説に関する史跡や、農産物を地域外の方に紹介する「鬼沢の旅」ツアーを開催し、「義人民次郎」スライド上映や、鬼神社、鬼沢のカシワなどを散策しました。また、スライド上映のための研修会では、弁士としてのことばの読み合わせを学んでもらいました。

- 事業実施場所: 鬼沢周辺地域
- 事業実施期間: 平成29年10月1日～平成30年3月28日
- 参加者数: 120人
- 補助金確定額: 246,000円(事業費: 327,457円)

事業による効果

「鬼沢の旅」ツアーでは、市内から参加者が集まり、鬼檜地域に興味を持ってもらうことができ、地域を訪れる人が増えたと実感しました。地域の住民にとっても、地域の歴史や伝説を再認識し、学習することで、さらに鬼檜地域への理解を深め、地域の史跡や行事を後世に伝えていく下地を作る一助となりました。

今後の活動展開

「鬼沢の旅」ツアーは、夏・秋と継続して開催していきます。スライド研修会は、地域の歴史や伝説だけでなく、ほかの地域にある鬼檜地域に関連することを紹介する研修会を開催します。



自己評価

おおむねできた

⇒ツアー参加者からは、「また参加したい」、「友達を連れて来たい」という感想をいただき、ツアー開催の意義を実感しました。

研修会を開催したことで、スライド弁士が増え、スライド操作を担当できるスタッフも確保することができました。



津軽カタリスト 太宰治ドラマリーディング定期公演 事業

津軽カタリスト

事業目的

太宰治が学生当時下宿していた家宅が現存しており、太宰文学研究が脈々と続けられている弘前市は、太宰治研究の分野において、とても重要な位置にある街だということを、ドラマリーディングを通して広くPRし、浸透させること。

事業内容

市指定有形文化財である「太宰治まなびの家」を会場に、計5回のドラマリーディング定期公演を実施しました。公演と、それに伴う広報活動を通して、「弘前は太宰研究の街である」ことを、市内外に向けて広くアピールしました。

- 事業実施場所: 太宰治まなびの家 (旧藤田家住宅)
- 事業実施期間: 平成29年4月1日～平成29年12月19日
- 参加者数: 394人
- 補助金確定額: 460,000円 (事業費: 511,584円)

事業による効果

公演を何度も継続し、新聞等のメディアでも取り上げられたことで、市外・県外からお客様が来場しました。団体としての知名度が上がるのと比例して、「弘前は太宰研究の街である」というPRの効果が、少しずつ実を結び始めました。

今後の活動展開

季節ごとの定期公演を続け、質の高さと内容の充実を図ります。評判が上がることをめざし、メディアへの露出を増やしたいと思います。また、定期公演とは別の機会に、実験的に入場料を徴収するステージを開催してみたいと考えています。

自己
評価

大変よくできた

⇒公演や広報活動により、知名度を上げることで、「弘前は太宰研究の街である」ことを広くPRし、太宰治まなびの家の価値をもっと知ってもらいたいという目的を、さらに前進させることができました。



事業目的

愛犬と暮らす地域環境を少しでも良くするために、愛犬家が楽しみ、学ぶ場を提供すること。
マナーやしつけへの意識を向上し、命の大切さを知ってもらうこと。
遊びの中から学ぶことがたくさんあり、その遊びの中からそれぞれの家庭を見つめ直す機会が生まれる可能性があることを知ってもらうこと。

事業内容

ワークショップでは、しつけ教室、グルーミング、写真の撮り方を実施したほか、様々な物販ブース、PR活動ブースを設けました。

また、ドッグランや参加型ゲームといったレクリエーションの場を設定しました。

- 事業実施場所: 岩木青少年育成委員会
- 事業実施期間: 平成29年7月1日～平成29年11月17日
- 参加者数: 1500人
- 補助金確定額: 500,000円(事業費: 1,220,121円)

事業による効果

野外イベントへの参加は、マナー向上への大きなステップになり、イベント終了後のクリーンアップタイムでは、ほとんどごみや糞がありませんでした。
ワークショップでは、日常に役立つ情報を提供でき、愛護センターや三本木農業高校のブースでは、殺処分についての問題定義をしていただき、参加者にそれらの社会問題について知ってもらうことができました。

今後の活動展開

入場受付方法や、周知方法などを改善しながら、より弘前市民に参加してもらえるかたちにしたいと思います。

また、弘前市内からの参加者のうち、2割が犬連れではなかったことから、愛護センターの協力を得ながら、譲渡会を行うなどして、殺処分ゼロへのステップにできないかと考えています。

また、車のない方の参加方法なども検討していきたいと思っています。



おおむねできた

⇒前年の2倍以上の集客がありましたが、大きなトラブルや事故なく終了することができました。

会場では、たくさんの犬・人がふれあい、楽しんでいただくことができました。



事業目的

県内外で精力的に活動しているさまざまな団体との交流を通じて、地域で活動している団体や、医療介護専門職などがお互いを認知しあい、ネットワークの形成を促すことによって、弘前の包括的な地域づくりの発展を目指すこと。

事業内容

基調講演では、包括的な地域づくりをテーマに、医療介護・地域おこしの分野の現状や課題、対策について発表していただきました。また、県内で活動している個人・団体には、日々の取り組みや、活動を始めたきっかけなどについて発表していただきました。

- 事業実施場所: さくら野4階ホール
- 事業実施期間: 平成29年7月1日～平成29年12月18日
- 参加者数: 142人
- 補助金確定額: 379,000円(事業費: 421,341円)

事業による効果

県内のさまざまな団体を市民に知ってもらうことができました。また、休憩時間や交流時間に情報交換をしている様子が数多く見られ、新たなつながりが生まれる一助となりました。

今後の活動展開

今回できたネットワークを生かして、地域に暮らす人がどんな問題を抱えていても、自分なりに満足いく生活ができるような活動を発展させていきたいと思えます。また、事業に参加した方と、どのような活動ができるかを考え、実践していきたいです。



自己評価

大変よくできた

⇒参加者のアンケート回答や、かけていただいた言葉から、事業の目的を達成できたと考えています。また、参加された方のほかにも、事業に興味を持っていただいた方が多くいたと思われまます。



